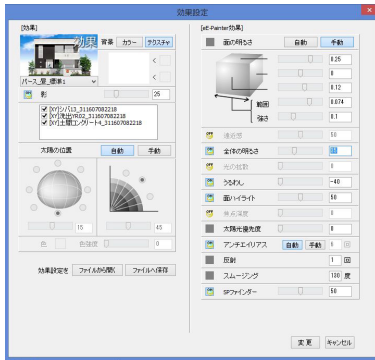


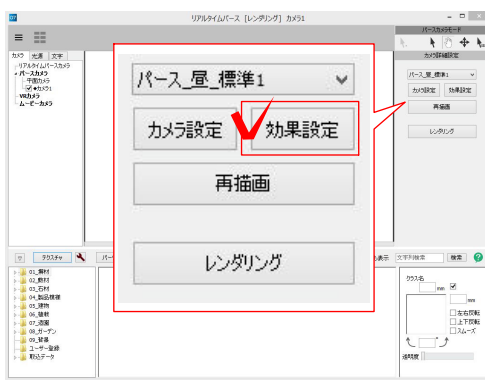
リアルタイムパースの効果設定の保存・開く方法

リアルタイムパースで設定した効果設定を保存する方法です。



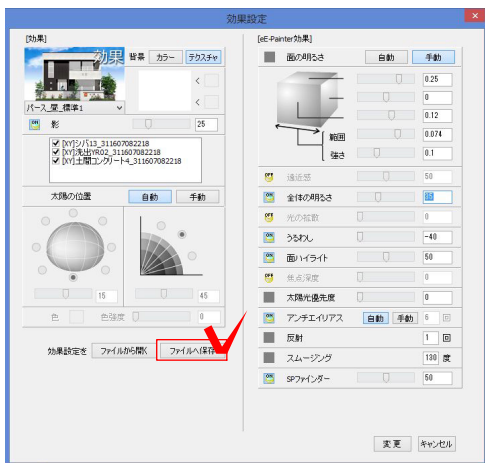
リアルタイムパースで効果設定を調整した時、設定を保存しておくことができます。

効果設定ファイルはCAD図面ファイル内、もしくは指定した場所に保存が出来ます。



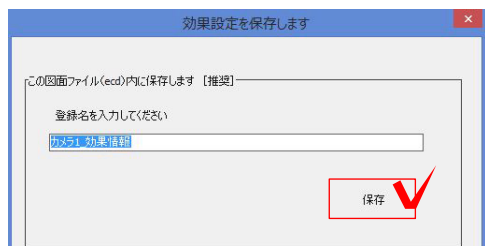
1 効果設定を保存

1-1：リアルタイムパースの効果設定をクリックし調整画面を表示します。



1-2：効果設定を調整し、「保存」をクリックします。

効果設定保存の画面が表示されます。



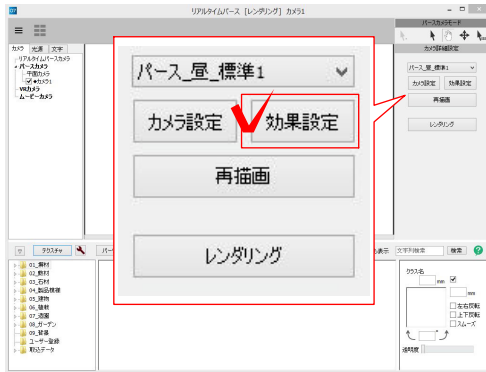
1-3：名前を入力し「保存」をクリックします。

この図面ファイル内に保存されます。

別ファイルに保存

別ファイルに保存：パソコンのデスクトップなど指定した場所に保存することが出来ます。

2 効果設定を開く



保存した効果設定は、修正後などに利用出来ます。再度、同じ様に効果設定を調整する必要がなくなります。

1-1：リアルタイムパースの効果設定をクリックし調整画面を表示します。



1-2：「ファイルから開く」をクリックします。



1-3：保存した効果設定を選択し「開く」をクリックします。

ファイルを開く：パソコンのデスクトップなど指定した場所に保存した効果設定を開くことが出来ます。

変更

1-4：画面右下「変更」をクリックします。
効果設定画面が閉じられます。

再描画

1-5：右側の「再描画」をクリックします。
選択した効果設定が適用されます。